

2液化学反応型エポキシ パネルボンド

パネルボンド30, パネルボンド45



ディスペンサー

特長

EVERCOAT パネルボンド30/45は2液から構成されるエポキシ接着剤です。この商品は様々なボディーパネルを補修でき、SMC同士、金属同士、SMCと金属との接着に使用することができます。パネルボンド30/45は、耐腐食性であるため、プライマー等の使用を省けます。また、ガラスビーズを採用し、圧着した際に接着剤が残る適切な隙間が出来きます。50℃15分でクランプを外し次の作業に移れます。

使用可能素材

- ・グラスファイバー ・SMC
- ・アルミニウム ・鋼板

パネルボンド30

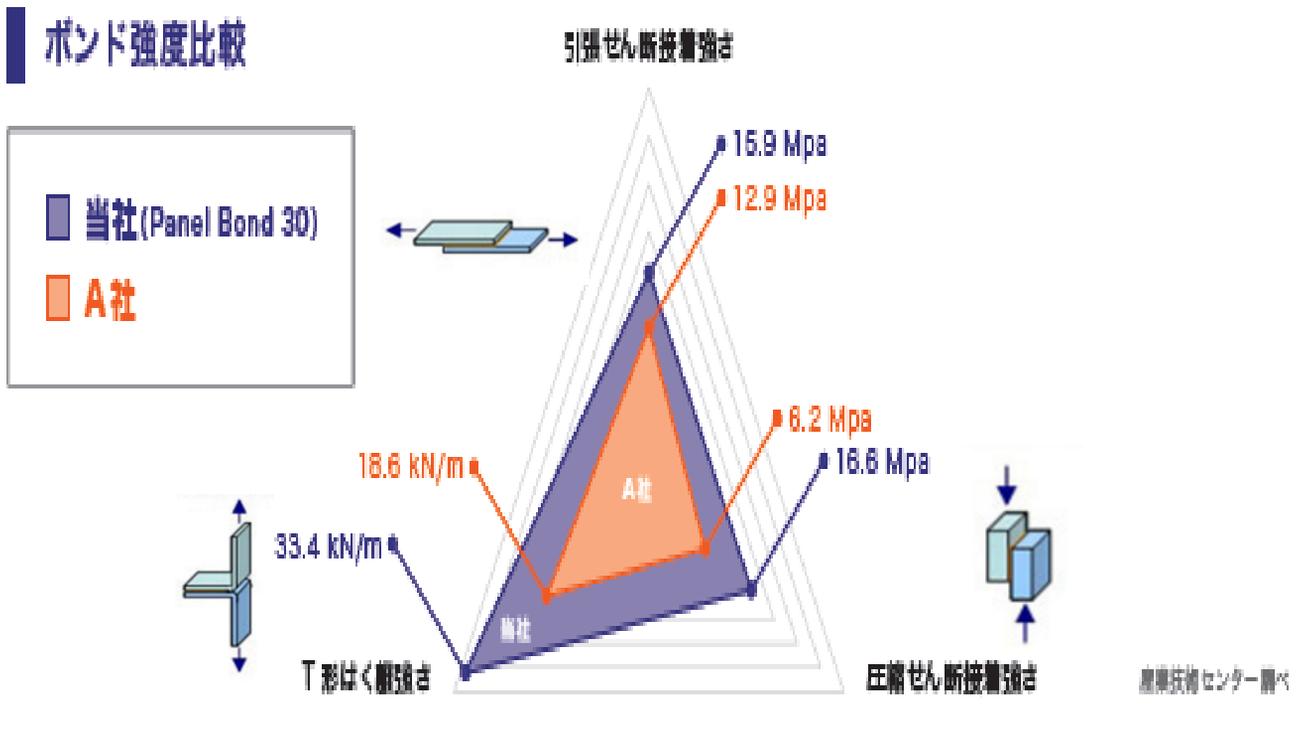
作業時間: 30~35分
 クランプ時間22℃(50℃): 3.5~4時間(15分)
 サンディング時間: 1.5~2時間
 完全乾燥時間: 12時間
 完全乾燥 強制乾燥時: 65℃ 1m 3時間

パネルボンド45

作業時間: 45~50分
 クランプ時間22℃(50℃): 3.5~4時間(15分)
 サンディング時間: 3.5~4時間
 完全乾燥時間: 24時間
 完全乾燥強 制乾燥時: 65℃ 1m 3時間

2液化学反応型エポキシ パネルボンド30/45 他社比較 剥離試験

ボンド強度比較



	当社	A社	強度比
引張せん断接着強さ	15.9 Mpa	12.9 Mpa	123 %
圧縮せん断接着強さ	16.6 Mpa	6.2 Mpa	268 %
T形はく離強さ	33.4 kN/m	18.6 kN/m	180 %

- 1.補修を行う表面に泥、油、グリス、ワックス等を落とし脱脂してください。
- 2.破損したパネルを取り除き、接着剤や溶接が必要な箇所から古いパテ、塗料、プライマー等を削り落としてください。(目安30番手～80番手)
エアーを使用して埃を落とし、多目的溶剤クリーナーで洗ってください。
破損した部品を修正し、仮合わせをして問題がないか確認してください。
備考：詳しくは車両メーカーが推奨したボディー補修マニュアルに従ってください。
- 3.新しいパネルの接着剤塗布部分は#320でサンディングし、パネルボンド塗布部分の電着塗装を削いでください。
エアーを使用して埃を落とし、多目的溶剤クリーナーで洗ってください。
- 4.カートリッジをディスペンサーにセットし接着剤を押し出します。
先端ミキシングチップをセットし押し出します。適切な混合がされているか確認してください。ミキシングチップを初めて取り付けつけた場合は、2cm程試し打ち塗布してから作業を開始してください。
試し打ちしたパネルボンドは使用しないでください。
パネルボンドを車体と部品両方に必要な箇所に塗布してください
必要であれば、ミキシングチップの先端をカットして使用してください。
- 5.塗布したパネルボンドをヘラや刷毛で、必要箇所部分全体に伸ばしてください。
- 6.パネルを合わせ組み付け等間隔でクランプ留めしてください。
クランプは3.5～4時間外さないでください。
余分なパネルボンドを繋ぎ目から全て取り除いてください。

クランプで固定した後に、乾燥機等を使用しクランプ固定時間を短縮することもできます。
50℃前後で15分乾燥させればクランプを外すことができます。

備考：この商品は構造部品を接着するものではありません。もしパネル同士を接着する事に質問等がございましたら、車両メーカーから出ているボディー補修のガイドラインを確認してください。接着剤を使用する前に必ず車両メーカーから推奨された指示に従ってください。

7. 溶接が必要な場合は、車両メーカーから出ているボディー補修のガイドラインに従ってください

使用後は、そのままミキシングチップを取りつけたまま涼しい場所へ保管してください。
再使用する場合はミキシングチップを新しい物に付け替えて使用してください。

※パネルボンド30/45を使用したパネル等を熱を加えて外す場合は約200℃になります。